

京都府内で相談業務等に携わる職員対象

令和4年度

認知



行動療法
セミナー

令和4年9月5日(月)
13:00-15:30
Zoomウェビナーによる
オンライン開催

●テーマ
悲嘆の概念と
ケア・治療

定員：100名

詳しくは裏面をご覧ください

武蔵野大学 人間科学部人間科学科

教授 中島 聡美 先生

参加無料

申し込みフォーム <https://forms.office.com/r/wy4Xx0FkBc>

【申し込み締め切り：令和4年8月26日(金)】



申し込みフォーム

京都府精神保健福祉総合センター

平成23年度から開催しています認知行動療法セミナーを今年度も開催します。

今回は悲嘆のケアを専門にされている、武蔵野大学人間科学部人間科学科 教授 中島 聡美 先生をお招きしております。

中島先生の講義をとおして、「悲嘆の概念とケア・治療」をテーマに認知行動療法の観点を踏まえながら支援方法を考えていきます。

●大切な人を失った後に — 遷延性悲嘆の概念、治療について—

武蔵野大学 人間科学部人間科学科 教授 中島 聡美 先生

大切な人を喪うと、嘆きや寂しさなどの悲嘆が生じますが、多くの場合、時間の経過とともに自然にその反応は和らいでいきます。しかし、突然の死別や自死や事故などの心に衝撃を受けるような死別では、急性期の強い悲嘆反応が持続し、心身の健康にも有害な影響があることがわかってきました。そのような悲嘆は遷延性悲嘆症（**prolonged grief disorder**）（ICD, 2019; DSM-5TR, 2022）として近年精神障害として位置づけられ、認知行動療法が有効であることが報告されています。この講義では、通常の悲嘆反応と遷延性悲嘆症の概念とケアや治療について学ぶことで、メンタルヘルス関係者が遺族のケアを行う一助になればと思います。

●申し込みについて

※定員に達し次第、締切りますので御了承ください

※申し込みフォームがうまく開けない場合は、下記までお問い合わせください

※院内研修等に御利用になる場合は、個別に御相談ください

申し込みが完了しましたら、後日メールにて詳細をお送りいたします。
令和4年8月31日を過ぎてもメールが届かない場合は恐れ入りますが、下記までお知らせください。

<お問い合わせ> 京都府精神保健福祉総合センター 相談指導課 南・吉村
TEL : 075-641-1810 E-mail : mhc-d@pref.kyoto.lg.jp